



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日

上場会社名 セグエグループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3968 URL <https://segue-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 愛須 康之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 福田 泰福

TEL 03-6228-3822

四半期報告書提出予定日 2021年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	5,885	17.1	249	△21.4	290	△13.0	181	△22.9
2020年12月期第2四半期	5,025	△0.6	317	2.8	334	9.6	235	17.8

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 161百万円 (△23.7%) 2020年12月期第2四半期 211百万円 (△7.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	15.83	15.59
2020年12月期第2四半期	20.66	20.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	7,536	3,190	41.5
2020年12月期	7,191	3,172	43.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 3,128百万円 2020年12月期 3,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	13.7	919	9.1	938	7.4	675	6.4	59.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期2Q	11,631,435 株	2020年12月期	11,557,035 株
-------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年12月期2Q	127,589 株	2020年12月期	127,589 株
-------------	-----------	-----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期2Q	11,479,112 株	2020年12月期2Q	11,414,376 株
-------------	--------------	-------------	--------------

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」制度の信託財産として株式給付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2021年8月20日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が継続しており、2020年4月に1回、当第2四半期連結累計期間において2回、通算で計3回の緊急事態宣言が発令されるなど、先行き不透明な状況が強まっております。

当社グループの属するIT業界におきましては、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」に対応するデジタルシフトが加速するとともに、デジタルトランスフォーメーション等への注目度は高まっております。あらゆる業種・職種でテレワークの普及、クラウドの活用が加速し、そのセキュリティの重要性はますます高まっております。また、それらを活用するデジタル人材の育成・確保の取組みが推進されています。政府によりデジタル庁の創設が予定され、これらの動きはさらに加速するものと予想されます。そのほか、文部科学省が掲げるGIGAスクール構想により、全国の学校のネットワーク整備等が進められ、当社グループ取扱いのWi-Fi関連商材も採用されております。しかしながら、IT投資の抑制や導入時期の延期等の見直しも懸念されます。

このような環境の中、当社グループは、主力プロダクトやテレワーク関連プロダクトの拡販、商材ラインアップの拡充、サービスの拡大などを進めてまいりました。また、自社開発につきましては、開発体制の強化、品質の向上、販売パートナーの拡充などに努めております。その結果、サービスの販売は、設計・構築サービス、サポートサービスいずれも増加いたしました。しかしながら、テレワーク関連プロダクトの需要が前年同四半期と比べ減少し、プロダクトの販売は微増に留まりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におけるソリューションプロダクト事業の売上高は2,983,864千円と前年同四半期と比べ174,393千円(6.2%)の増収、ソリューションサービス事業の売上高は2,901,566千円と前年同四半期と比べ685,210千円(30.9%)の増収、連結売上高は5,885,431千円と前年同四半期と比べ859,603千円(17.1%)の増収となりました。また、売上総利益につきましては、1,477,247千円と前年同四半期と比べ80,798千円(5.8%)の増収となりました。

営業利益につきましては、継続成長に向けた積極的な人財への投資による人件費等の増加を吸収しきれず、営業利益は249,883千円と前年同四半期と比べ67,879千円(△21.4%)の減益、経常利益は290,974千円となり前年同四半期と比べ43,475千円(△13.0%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は181,819千円と前年同四半期と比べ54,036千円(△22.9%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は7,536,145千円となり、前連結会計年度末に比べて344,517千円の増加となりました。流動資産は6,048,320千円となり、前連結会計年度末に比べて241,559千円の増加となりました。固定資産は1,487,825千円となり、前連結会計年度末に比べて102,957千円の増加となりました。

流動資産増加の主な要因は、受取手形及び売掛金、たな卸資産が減少した一方、現金及び預金が増加したこと等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、投資有価証券の増加等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は4,345,717千円となり、前連結会計年度末に比べて326,777千円の増加となりました。流動負債は4,038,226千円となり、前連結会計年度末に比べて304,688千円の増加となりました。固定負債は307,491千円となり、前連結会計年度末に比べて22,088千円の増加となりました。

流動負債増加の主な要因は、前受金が増加したこと等によるものであります。固定負債増加の主な要因は、退職給付に係る負債、及び株式給付引当金の増加等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は3,190,428千円となり、前連結会計年度末に比べて17,739千円の増加となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が減少した一方、新株予約権が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、現時点では、2021年2月12日公表の業績予想から変更はございません。今後、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,727,426	3,084,384
受取手形及び売掛金	2,088,973	1,331,267
電子記録債権	87,262	155,977
たな卸資産	821,751	569,573
前渡金	549,329	607,214
未収入金	428,133	193,958
その他	104,756	106,652
貸倒引当金	△872	△707
流動資産合計	5,806,761	6,048,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	78,366	70,662
減価償却累計額	△45,686	△35,212
建物及び構築物(純額)	32,679	35,449
車両運搬具	3,076	3,076
減価償却累計額	△2,668	△2,734
車両運搬具(純額)	407	342
工具、器具及び備品	949,448	920,204
減価償却累計額	△788,270	△750,375
工具、器具及び備品(純額)	161,177	169,829
土地	639	639
建設仮勘定	—	2,287
有形固定資産合計	194,904	208,548
無形固定資産		
のれん	92,213	80,378
ソフトウェア	140,484	133,075
ソフトウェア仮勘定	7,517	—
その他	1,209	1,209
無形固定資産合計	241,424	214,663
投資その他の資産		
投資有価証券	602,732	693,803
長期差入保証金	128,223	120,953
繰延税金資産	109,306	140,632
保険積立金	85,256	86,711
破産更生債権等	1,447	1,447
その他	22,911	22,405
貸倒引当金	△1,339	△1,339
投資その他の資産合計	948,538	1,064,612
固定資産合計	1,384,867	1,487,825
資産合計	7,191,628	7,536,145

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	804,759	825,946
1年内返済予定の長期借入金	8,028	5,324
未払金	105,145	98,125
未払費用	186,495	278,376
未払法人税等	247,765	153,546
未払消費税等	133,890	108,581
賞与引当金	2,000	9,110
前受金	2,183,623	2,531,664
その他	61,829	27,549
流動負債合計	3,733,537	4,038,226
固定負債		
長期借入金	1,830	520
退職給付に係る負債	201,421	214,704
株式給付引当金	15,553	25,668
長期末払金	66,598	66,598
固定負債合計	285,402	307,491
負債合計	4,018,940	4,345,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	510,772	514,326
資本剰余金	283,272	286,826
利益剰余金	2,393,965	2,392,913
自己株式	△100,252	△100,252
株主資本合計	3,087,757	3,093,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,168	33,530
繰延ヘッジ損益	△805	747
その他の包括利益累計額合計	54,362	34,277
新株予約権	30,567	62,335
純資産合計	3,172,688	3,190,428
負債純資産合計	7,191,628	7,536,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	5,025,827	5,885,431
売上原価	3,629,378	4,408,183
売上総利益	1,396,449	1,477,247
販売費及び一般管理費	1,078,686	1,227,364
営業利益	317,762	249,883
営業外収益		
受取利息及び配当金	27	8
為替差益	2,446	33,560
保険解約返戻金	3,372	1,518
補助金収入	8,244	1,983
受取補償金	—	9,595
その他	2,995	1,293
営業外収益合計	17,086	47,960
営業外費用		
支払利息	69	108
支払保証料	120	120
株式交付費	210	180
顧客補償等対応費用	—	6,436
その他	0	24
営業外費用合計	400	6,869
経常利益	334,449	290,974
特別利益		
投資有価証券売却益	22,699	—
特別利益合計	22,699	—
特別損失		
式典解約関連費用	1,964	—
特別損失合計	1,964	—
税金等調整前四半期純利益	355,184	290,974
法人税、住民税及び事業税	153,562	138,620
法人税等調整額	△34,233	△29,465
法人税等合計	119,328	109,154
四半期純利益	235,855	181,819
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	235,855	181,819

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	235,855	181,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,744	△21,637
繰延ヘッジ損益	△223	1,552
その他の包括利益合計	△23,968	△20,085
四半期包括利益	211,887	161,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	211,887	161,734
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、ITソリューション事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。